

ごみの減量・再資源化に関する市民説明会 概要
【武石公民館】

1 開催概要

開催日時	令和 8 年 7 月 9 日(木) 19:00～20:15	
開催場所	武石公民館 コミュニティホール	
出席者	市民	23 名
	行政(市職員)	環境部長、資源循環型施設建設推進参事 ごみ減量企画室 3 名、廃棄物対策課 2 名

2 主な質疑応答

No	項目	質問・意見等	回答
1	周知方法	資源として回収された紙類が最終的にどうなるのか、その行方を知ることによって分別の必要性が納得できた。市民が納得して協力できるよう、市の広報紙に紙類やそれ以外の資源物のゆくえを連載で掲載するといったことも考えてほしい。	紙類のほか、資源物を回収したあとの流れについて、広報誌やホームページで紹介していくよう努めてまいりたい。
2	ごみの出し方	スーパーのラップにはシールが貼ってあるが、それは切って分別する必要があるか。	剥がしても取れない場合には、そのまま出してもらっても問題ない。
3	ごみの出し方	プラスチック類の汚れは、どの程度きれいにすればいいのか。	食品の残りがすなど、汚れているものは洗うか、ふき取るなどしてきれいにさせていただき、乾かしてから指定袋で出していただきたい。
4	ごみ処理	外(店舗等)で分別ボックスへ入れるときには、汚れたままプラごみを入れるが、そのプラごみは汚れたままなので焼却処理されるのか。	プラスチック類はプラスチック類として扱われる。汚れのひどいものは再生できない場合もあるかもしれないが、焼却処理されることない。
5	ごみの出し方	スーパーの食品を包装しているラップはプラマーク付きプラスチックごみ袋で、自宅で使用するラップは燃やせないごみ袋に分別することとなっているが、その違いは何か。	出し方のルールとして、プラマーク付きプラスチックは容器包装されているものが対象となり、そうではない家庭のラップは燃やせないごみ袋となる。わかりづらい点もあるがご理解いただきたい。

6	資源物の出し方	雑がみをビニール部分など切っていくとかなり小さくなってしまいうことがありますが問題ないか。	シュレッダーごみは繊維が細かく切断されてしまいリサイクルできないが、それより大きいものであれば雑がみとして出していただきたい。
6	ごみの分別	包装しているビニールはプラ袋(緑字の指定袋)、同じ素材なのに家庭のラップは燃やせないごみ袋(赤字の指定袋)との説明だが、資源化するなら不合理ではないか。その辺りの考えは。	スーパー等で包装されているプラスチックなどは、事業者の責任において処理するようリサイクルルートで回収されリサイクルされる仕組みであるご理解いただきたい。ただし、非常にわかりづらいので、他の自治体では一緒に集めることも取り組んでおり、今後、上田市でも検討していくようになると思われる。
7	資源循環型施設	新施設は、既存施設の処理能力の半分以上となる 126 トン/日とのことだが、実際のごみ量はどのくらいか。	現在の燃やせるごみの量は資料 10 ページにグラフがあり、令和 7 年度は 31,056 トンである。資源循環型施設は、多少の余裕も見ているが、今後人口が減少すると想定され、またごみの量も全国的にも減っている状況から、現在の燃やせるごみ量でも焼却可能な処理能力である。
8	資源物の分別	紙パックは資源物としてリサイクル出来て、紙コップがリサイクルできないのはなぜか。	紙パックは、木材から作られるバージンパルプが使われており、ある程度の量が集まるのでリサイクルできるが、紙コップは素材も違い、量も少ないためリサイクルルートも確立されていない。また紙の再生工場において品質低下につながることから禁忌品となっている。

9	最終処分場	最終処分場がないため、焼却灰を県外へ搬送し処理している状況だが、今後の見通しはどうか。	ごみ処理に関しては上田市、東御市、長和町、青木村で構成する上田広域連合で行っており、焼却施設を建設する上田市以外で場所の選定の検討に入っているが、市民の皆様に御理解をいただく必要があるため、最終処分場ができるまでには時間がかかると思われる。
10	資源物の出し方	封筒にセロテープで封をするが、セロテープでなければそのまま紙類で出せると思うが、その辺りの考えはあるか。	市では現在、セロテープではなく糊で封をしている。今後もセロテープを使わないよう努めてまいりたい。